



## 五条川を調査！

7月22日(木)、五条川の豊国橋付近を会場にして、「五条川水辺のいきもの調査～目印モンスターを探せ～」が開催されました。目印モンスターとは、正式名称を「指標生物」といい、その川の水がどのくらいきれいかわることができる生き物のことです。強い日差しの中、小学生は元気いっぱい川へ入り、タモを使って魚や生き物を探したり、水に潜って夢中で観察していました。一生懸命に活動する姿がとても印象的で、自然と触れ合いながら楽しそうに学ぶ様子が見られました。



## 交通事故防止を呼びかけ

7月17日(金)、夏の交通事故ゼロキャンペーンがカネスエ八剱店で開催されました。江南警察署員と中部保育園の園児21人が、啓発チラシなどを配布し、交通事故防止と安全意識の向上を呼びかけました。園児は猛暑の中、慣れないことにも最後まで意欲的に取り組み、その姿に訪れた人からは笑顔が溢れ、会場は賑やかな雰囲気になっていました。この活動が地域の交通安全について改めて考える、貴重な機会となりました。



## ヨーヨーチャンピオンと交流

7月25日(土)、生涯学習センターで、ヨーヨーの世界チャンピオンなど3人(岩倉玲さん、岡田一輝さん、城戸慎也さん)を講師としてお招きし、いわくらヨーヨー講座が開催されました。初心者から経験者まで、22人の小学生が参加し、初めは思うように動かせず苦戦する姿も見られましたが、夢中になって取り組むこどもたちと、それを見守る保護者の皆さんの笑顔があふれる楽しい時間となりました。



## 戦争のない世界を願って

7月24日(金)、「折鶴預託式」が市役所で行われ、岩倉市小中学生平和祈念派遣団として広島を訪れる小中学生に、市民の皆さんが平和への願いを込めて折った73,000羽の折り鶴が託されました。

派遣団の児童生徒一人一人が「市の代表として、原爆や戦争の悲惨さを現地で学び、多くの人に伝えたい」「平和の大切さをしっかりと感じてきたい」など、それぞれの想いを力強く語りました。



## プロと奏でる初めての一曲

7月26日(日)、岩倉市ジュニアオーケストラ演奏&楽器体験会が市役所で行われました。

多くのこどもたちが参加し、セントラル愛知交響楽団に所属するプロの音楽家から手ほどきを受けながら、金管楽器や木管楽器、打楽器、弦楽器などの演奏に挑戦しました。初めて触れる楽器に最初は戸惑う様子もありましたが、少しずつ音が出せるようになると、こどもたちは笑顔を見せていました。



## 大野市と交流！

7月25日(土)、26日(日)の両日、大野市友好交流バスが運行され、32人の参加者が大自然と歴史を満喫しました。化石掘り体験やボランティアガイドによる市内散策を通じ、両市の絆を深めました。特に夜は、令和5年に「星空保護区®」に認定された美しい星空を眺め、その幻想的な光景に感嘆の声が上がりました。体験を通じて新たな魅力を発見できたことは、参加者にとってかけがえのない思い出となり、今後も続く友好の輪を強く実感する充実した二日間となりました。



## 五条川で夏を満喫

8月2日(日)、毎年恒例の水辺まつりが八剣憩いの広場周辺の五条川で開催されました。会場には、ウォータースライダーやいかだ体験などのアトラクションがあり、こどもたちが元気いっぱい遊ぶ姿が見られ、水しぶきを浴びながら夢中になって楽しんでいました。厳しい暑さの中で開催されましたが、暑さ対策として、こまめな水分補給や休憩を呼びかけながら運営を行い、大きな事故やけがもなく、無事にイベントを終えることができました。



## 夏の夜を彩る山車

8月1日(土)、市指定文化財の下本町と中本町の2台の山車が、提灯を灯して岩倉街道を巡行する「岩倉祇園宵祭り」が開催されました。この催しは、2町の神社の夏の祭礼「祇園祭」に合わせて毎年行われ、岩倉の夏を彩る風物詩として親しまれています。

くすのきの家では、精巧な動きが見どころのからくり実演が披露されました。今年は創建400年を迎えた中本町の山車が、からくり実演の最後にくす玉を割る特別な演出も行われ、見物に訪れた人たちからは大きな拍手が送られました。

